

## LiSA サポーターズ外部研修等参加報告書

- 1 研修等名 「令和5年度 神奈川県高等学校PTA連合会 相模原地区協議会大会」
- 2 会場、日時 相模原南市民ホール 令和5年10月21日(土) 13:00~16:30
- 3 参加者 会長、副会長、本部役員、各委員会委員4名、学校書記

### 内容

#### 1. 開会式

- 開会の言葉 神奈川県総合産業高等学校サポーターズ会長  
主催者挨拶、神奈川県立高投学校PTA連合会理事 相模原地区協議会会長  
(上溝高等学校PTA会長)  
相模原地区学校長会議会長  
来賓挨拶、神奈川県高等学校安全振興会 理事長  
来賓紹介、神奈川県立高等学校PTA連合会 副会長 他役員

#### 2. 表彰

令和4年度PTA活動または生徒活動が顕著である団体および個人に対し功績を称え表彰するもの。

- (1) PTA活動部門 橋本高等学校PTA  
生徒との懇談会から文化祭の後夜祭で花火打ち上げの希望を叶えるために奔走し、実現に漕ぎ着けた活動が高く評価された。
- (2) 広報誌部門 会長賞 相模田名高等学校PTA  
優秀賞 橋本高等学校PTA  
優秀賞 相模原総合高等学校PTA (3月完校により紹介のみ)
- (3) 生徒活動部門 優秀賞 上溝高等学校 生徒有志  
「上溝にこにこ子ども食堂ボランティア活動」  
功績賞 神奈川県総合産業高等学校 化学工学部  
「コバルト(II)錯体の配位子置換による呈色への影響」等研究発表大会において受賞され高い評価を受けた。  
功績賞 相模原弥栄高等学校 弥栄ACT部  
「天文学」の本を制作しカンボジア山間部の小学校に配布した。高校生ボランティアアワード2022において高い評価を受けた。

#### 3. PTA活動事例発表

##### (1) 相模原中等教育学校PTA

「相模原中等教育学校PTAの特色ある取り組みについて。」

学校概要、平成21年に県立相模大野高等学校が県の再編計画により中高一貫教育の学校として生まれ変わり相模原中等教育学校が開校した。義務教育課程の1年生から3年生を

前期生と高等学校教育課程の4年生から6年生を後期生と称している。

P T Aは前期生保護者、後期生保護者と各々の教員に分けることなく一括りで活動を展開している。

新体制を迎えるタイミングでP T A活動の見直しを図ることにしました。世間ではP T A不要論が一部で囁かれる中、透明性があり参加したくなるP T Aつまり「わくわく」が沢山あるP T A作りを目標とし、従来の運営方法における問題点の洗い出しから進めることになりました。

まず、問題点として会計処理に長時間を要することが取り上げられ、物品等の購入に際し1ヵ月半前に申請が必要なこと、これでは見積依頼から含めると実現までに時間が掛かり過ぎて活動自体が抑制され、迅速で柔軟な活動の妨げになると考えられました。

つまり、立案から実行までが円滑に動けない＝何も出来ないに繋がってしまう→P T Aはたいした事が出来ない＝不要論という流れが出来てしまうという図式です。

この点が解消されれば、迅速で柔軟な活動が展開され、P T A活動の動きが目に見えて分かりやすくなり「わくわく」が増え「参加してみたい。」という意識が芽生え、より活性化することが期待出来ます。では、どのような手法で取り組んだのか。

#### ① 学校へのP T A会費出納に係る管理業務委託契約の解消

現状県立高等学校P T A会費の多くは、県立学校会計管理基準に基づいて学校長とP T A会長の間で取り交わされている管理業務委託契約により、学校側が徴収金の一部として取扱い、出納業務及び会計管理を行っています。従って領収証の宛名が〇〇高等学校長となっています。

これをP T A側の管理に変更することです。つまり、会計管理業務の委託契約を終了とし解消します。

解約手続きについては口頭でも出来ませんが、後にトラブルとにならない様に契約解除となる日付を示した書面を取り交わし証として保存される方が望ましい。(民法 651 条)

P T Aが完全に私費会計となって以降は領収証の宛名も〇〇高等学校P T Aで問題ありませんし、あえて会長宛にする必要はありません。

#### ② 金融機関の口座開設

P T Aの会計担当者が個人で大金を常に持ち歩く訳にはいかないので金融機関に口座を開設する必要があります。金融機関では、規約、会則、役員名簿、代表者の本人確認書類等の提出が求められます。

上記の手続きを経てP T Aの会計業務を自ら管理する体制に変更しました。これにより会計処理業務の迅速化が図られたほか、担当教員の負担軽減にも繋がりました。

### (2) 相模原高等学校P T A

「まなびや基金」の活用

学校概要、相模原高等学校は昭和 39 年に開校し創立 60 周年を迎える歴史ある普通科

の学校で、最近ではSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定を受けています。

P T Aが生徒達と懇談する中で部活動に利用している部室棟がかなり老朽化しており柱の腐食などから改修して欲しい旨の要望を聞いた。

実際に見るとかなり老朽化していることが確認できた。P T Aとして何とかしてあげたいと考えたが、部室を建て替えや改修となるとかなりの金額が必要であり、県への要請を出していくしか手立てがないとなった。これを機に他にも困っていることがあるのではないかと考察する中で体育祭時にテントが不足していることが分った。

そこで「まなびや基金」制度を活用して学校に購入してもらう事を考えた。

まなびや基金は単に教育事業に係る設備改修や備品購入等自由に使っていただく寄付行為と特定の事業や学校を指定した目的別寄付行為の選択が出来る様になっている基金である。この制度に事業登録することでテントの購入が実現できると考え申請を出して審査の段階であります。各校に於かれましても様々な制度を活用することで実現できることがあります。

以上2校の活動事例発表でした。

### 3 講演

神奈川工科大学 応用バイオ科学部 教授 小池あゆみ 様

「理系は面白い～ロジカルシンキングってなに！？～」

講師の小池あゆみ教授は愛知県豊田市のご出身で地元の高校卒業後、名古屋工業大学工学部に入学され応用化学を専攻、卒業後はトヨタ自動車に入社、総合職として初の女子採用者となる。ご主人の仕事の都合により横浜市に転居され、2007 から神奈川工科大学准教授、2011 年には応用バイオ科学科教授として自らの研究と学生への指導をされている。

ロジカルシンキングとは、論理的思考法と云い、物事を結論と根拠に分け、その論理的なつながりを捉えながら物事を理解する思考法です。

特に理科系の分野では確かな根拠に基づいて体系的に説明されることが要求されます。ただ単に直感的な捉え方や、感覚的な何となくというような事では通用しません。

但し、直感的な事象でもそれが結果として何故成り立つのかを証明し、説明する為の手法として用いる思考法がまさにロジカルシンキングであると言えます。

工学分野における女性就業者が少ないのは何故かを考えてみます。理系分野で考えて見るとと医学系、看護系、薬学系、栄養学など女性が多い分野もあります。

しかし、工学系では極端に女性就業者が少なく全体では数%しかいないのが現状です。

但し、工学系を専攻する学生数を見ると、そこまで低い状況ではないことがわかりました。工学系を専攻し卒業後企業や研究機関に就職しても多くの方が寿退社または出産や子育てをしていく中で離職されるケースが多いことが考えられます。

いくら社会環境の整備や法整備が整ってきたとは云え、子育てで大きなウエイトを占

めるのは母親であることは昔から変わりません。また、保育園、学童保育の受け入れ数も地域により不足していることも現実にあります。さらに、コロナ過で在宅ワークが広く認められる様になりましたが、研究開発分野では100%の業務が在宅で可能と云うことはあり得ません。これらのことから女性の研究者、就業者の多くの方が止むを得ず離職してしまう現実があるということが分ります。

ここで、ロジカルシンキングで整理してみます。

前提・・・子育ては女性がするものだ。

(昭和的発想ですが、子どもから見てもお母さんの存在は大きい。)

観察事項・・・保育所、学童保育の受入人数が足りていない。

研究者は在宅ワークで全ての業務を完結することは不可能。

結論・・・子育てをしながら研究者として就労することが維持出来ない。

→離職してしまう。＝研究開発分野での女性就業者が少ない。

実際に小池教授も一時研究者としての立場を離れていた時期もあったようですが、縁にも恵まれ、というよりかこの機会を自分にとってのチャンスと捉え迷うことなく選択されたことが凄いと感じました。現在は神奈川工科大学応用バイオ科学部教授としてご活躍されている中で、もっと多くの女子生徒に工学分野にも目を向け志して欲しい、物の性質や特性を見出すことが新たなモノづくりとか薬の開発、治療法の開発に繋がる礎となる学問だからですとお話しされました。

## ❀ 会長コメント

相模原中等教育PTAの事例発表について、ある意味今迄タブーとされてきた慣習を見直し、より自主性の高いPTAを目指す試みにPTAのあり方を再考する口火を切ったと言っても過言では無いでしょう。確かに今までの習慣や習わしを踏襲していくことが使命とされている方も多いと思いますし、新たな取り組みをされることの労力を考えると躊躇される方が大半かと思われる中での英断はさすがとしか言えません。

ただ単に学校との会計業務の委託契約を解除する。これだけを見ても熟慮しなければなりません。まず、会計担当者の問題として誰が通帳を管理し、金銭の出し入れを行うのか、集金方法はどうするのか、また、個人の責任をどこまでカバー出来る対策が取れるのかを考察する必要があると思われます。

相模原高等学校PTAの事例発表について、「まなびや基金」の活用という内容で、知っていれば損はない、とても有意義な制度を紹介していただきました。発表の最初は部室の老朽化問題を解決する手立てとして事業提案されるのかと思いきやテントの購入になってしまったことは少々残念な気もします。但し、最低限度額が撤廃され少額の目的にも利用出来る事が分かったことはありがたいと思います。

神奈川工科大学の小池先生講演について、ロジカルシンキング難しい言葉で理解することも大変ですが、それより神奈川工科大も素晴らしい大学であると再認識しました。